

サービス付き高齢者向け住宅の持続性に関する研究 その4

- 都心近郊集住体の高齢者の暮らしと周辺地域との関係性について -

日大生産工(院) ○蛭川 黎 日大生産工(院) 市村 優翔
日大生産工 北野 幸樹 (株) プラスニューオフィス 瀬戸健似 福岡大学 野田りさ

1. 研究の背景と目的

本稿は、前稿(その3)に引き続く一連の研究である。前稿ではサービス付き高齢者向け住宅(以下、サ高住)について、人・活動・空間・時間の相互関係に基づき、住戸内の空間・環境、共用空間、暮らしの意識等について考察した。

本稿では、地域との関わり、日常生活・生活環境の評価、地域での暮らしについて考察することにより、持続可能なサ高住、並びに高齢者の地域居住についての基礎的知見を得ることを目的とする。

2. 調査の概要

調査対象^{注1)}及び調査内容は前稿(その3)と同様である。

3. 地域との関わり

3.1 地域活動について (Fig. 1, 2) (Table 1)

地域との関わりについて、地域活動の認知を比較すると、「ゆいま〜る高島平」は35.3%、「ゆいま〜る多摩平の森」は28.6%となっている。地域活動について認知している居住者は30%程度となっている。

地域活動への参加状況においては、「ゆいま〜る高島平」で21.1%、「ゆいま〜る多摩平の森」で10.0%となっている。「ゆいま〜る多摩平の森」の特徴として、地域とのコミュニティの場と成り得る「ゆいま〜る食堂」や「たまむすびテラス」の一施設として、地域とのコミュニティの場と成り得る共用部がある。共用部がフロントしかない「ゆいま〜る高島平」において、地域活動の認知、地域活動の参加の両方において高くなっている。「ゆいま〜る高島平」は、分散型の住戸構造のため、各住戸が独立しており、他者とのコミュニケーションで情報を得る状況より、各住居者間の繋がりがから交流の機会を得ていると考えられる。また、「ゆいま〜る多摩平の森」の方が「現在は参加していないが今後参加したい」の割合が高く、「ゆいま〜る多摩平の森」は健康増進に繋がるウ

ォーキングや筋トレ、体操会に加えた様々な活動への参加希望がみられ、地域活動への潜在的な参加層があると考えられる。

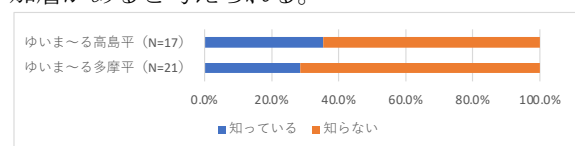


Fig. 1 地域活動の認知

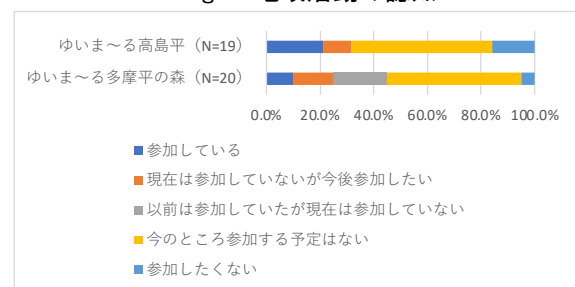


Fig. 2 地域活動への参加

Table 1 地域活動への参加希望

地域	参加希望
ゆいま〜る高島平	バス旅行等
ゆいま〜る多摩平の森	ウォーキング
	見学会
	筋トレ
	清掃活動
	季節のイベント
	体操会
	観察会
	どんな活動をしているか分からない
	パザー (希望)

4. サ高住での日常生活・生活環境

4.1 日常生活・生活環境の満足度 (Fig. 3)

日常生活・生活環境の満足度について、医療面の安心面、食事、健康管理・安否確認、介護支援、生活支援、建物、共用部バリアフリー環境に分けて整理する。全体的な傾向として、「ゆいま〜る多摩平の森」の方が満足度が高い傾向がみられる。

食事の満足度においては、「ゆいま〜る多摩平の森」には「ゆいま〜る食堂」があるため満足度が高いと考えられる。

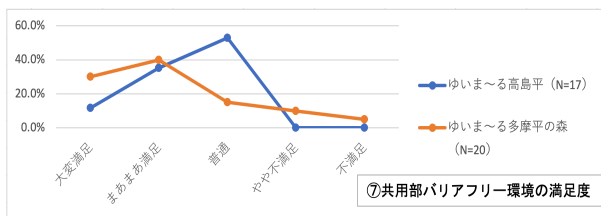
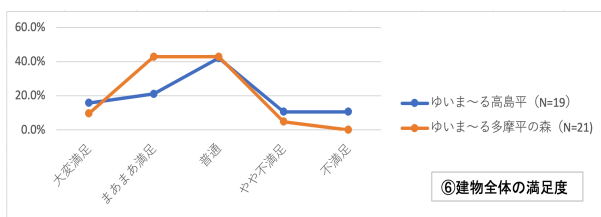
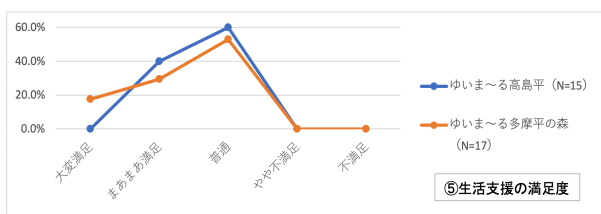
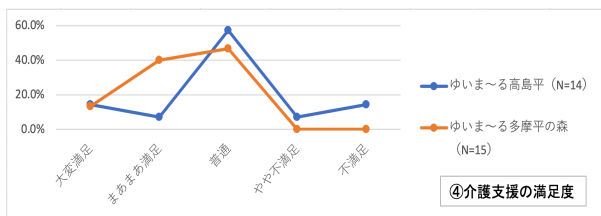
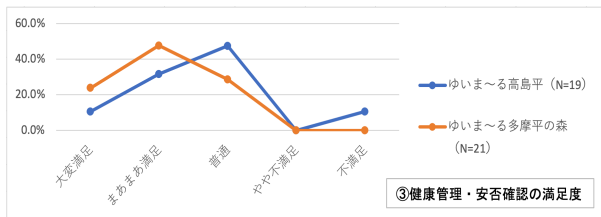
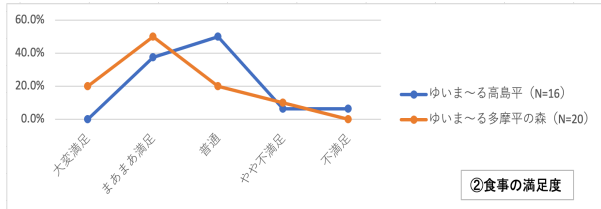
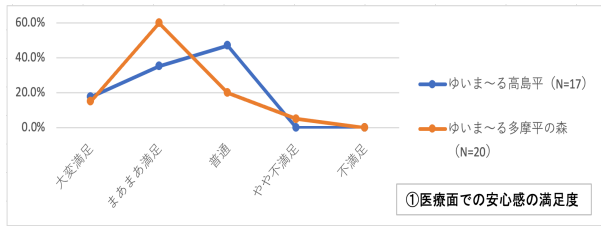


Fig. 3 日常生活・生活環境の満足度

4.2 1日の過ごし方 (Fig. 4, 5, 6) (Table 2, 3)

どちらの居住者も買い物や公園に散歩など外出行動がみられる。「ゆいま〜る高島平」は、買い

物が主にスーパーマーケットとなっており、サ高住内に食堂がなく、自宅での食事が多いことが影響していると考えられる。「ゆいま〜る多摩平の森」は、近隣に大型商業施設もあり、利便性も高いため、外出が多い一因となっていると思われる。

「ゆいま〜る高島平」は敷地内に緑は少ないものの、周辺に公園や緑道があるため、散歩やウォーキング等が多い傾向が見られた。「ゆいま〜る多摩平の森」は「たまむすびテラス」の一施設として周辺に畑や周辺を囲む沿道があることから、サ高住内での活動が多くなっている。

「ゆいま〜る多摩平の森」においては、小規模多機能居住介護施設ぐり〜んはあとや食堂兼集会所、屋外テラスを利用している居住者が多く、壱番館105号室のように居室において活動もみられる。

Table 2 1日の過ごし方 (ゆいま〜る高島平)

ゆいま〜る高島平 (N=16)	平日 (人数)	休日 (人数)	
買い物	ピーコック	6	3
	東武ストア	1	0
	アコレ	1	1
合計	8	4	
食事	高島平駅前カフェ	1	1
	合計	1	1
公園	高島平緑地	1	1
	赤塚公園	4	2
	噴水前公園	1	1
	新谷津川緑道	1	1
	合計	7	4
病院	スカイプラザ鍼灸院	1	0
	高島平中2丁目整形外科	1	0
	みなと歯科	1	0
	高島平中央総合病院	1	0
	合計	4	0
その他	図書館	1	0
	地図内	1	1
	地図外	4	3
	詳細不明	4	3
	合計	10	7
全合計	30	16	

Table 3 1日の過ごし方 (ゆいま〜る多摩平の森)

ゆいま〜る多摩平の森 (N=16)	平日 (人数)	休日 (人数)	
買い物	クリエイト	0	1
	イオン	6	2
	西友	2	2
	コープ	2	1
合計	10	6	
食事	団内テラス	1	0
	合計	1	0
公園	多摩平第一公園	1	0
	黒川清流公園	1	1
	合計	2	1
病院	多摩平の森病院	1	0
	関根クリニック	1	0
	合計	2	0
その他	図書館	2	0
	豊田駅	2	1
	協会	0	1
	地図内	4	0
	地図外	3	0
	詳細不明	4	4
合計	15	6	
全合計	30	13	

5. サ高住での暮らし

5.1 地域への定住意識 (Fig. 7)

「ゆいま〜高島平」は、「住み続けたい」が63.2%、「どちらでもない」が21.1%、「住み続けたくない」が15.8%となっている。「住み続けたくない」理由として店舗や駅までの距離が遠いこと、部屋が狭い、騒音などがあげられている。「ゆいま〜多摩平の森」は、「住み続けたい」が95.2%、「どちらでもない」が4.8%、「住み続けたくない」が0.0%となり、地域への居住環境は高い傾向がみられる。静かな環境や豊かな自然環境、住み慣れた街であること、買い物など利便性が良いと認識している居住者が多くなっている。

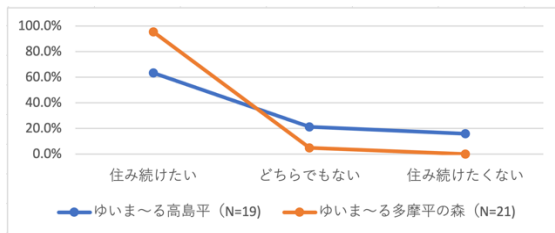


Fig. 7 地域への定住意識

5.2 地域への愛着 (Fig. 8)

「ゆいま〜高島平」の居住者は周辺地域に対する愛着はあまりみられず、愛着がある居住者は約20%にとどまっている。地域での活動が少ないことや魅力や興味が無いといった居住者の意識が、地域に対する愛着の低さに表れたと考えられる。「ゆいま〜多摩平の森」の居住者の84%は愛着があり、高い傾向がみられた。周辺環境の過ごしやすさ、自然環境の良さは地域への愛着につながると思われる。

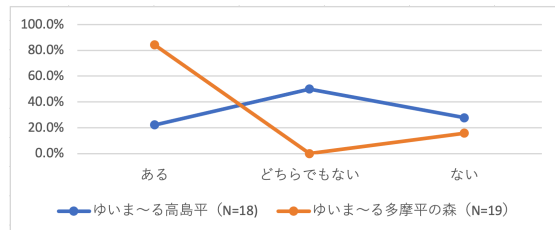


Fig. 8 地域への愛着

5.3 まちづくり活動への関心 (Fig. 9)

まちづくり活動への関心は高くない傾向がみられる。居住者からは、「自由にしたい」「集まりは疲れてしまう」「自分が高齢者だから」と

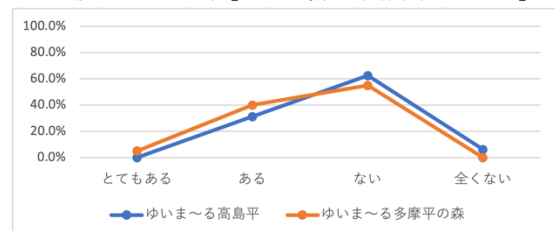


Fig. 9 まちづくり活動への関心

いった意見がみられた。一方で、「街全体に高齢者が多く活気がないので今後の魅力あるまちづくりに期待している」とまちづくり活動への意識の表れもみられる。まちづくり活動としてサ高住での暮らしとしてそのものが、周辺地域に影響し、調和して、結果としてまちづくり活動に繋がることを意識できることから関心も高まると思われる。

6. まとめ

本調査から得られたサ高住の暮らしの持続性に関する基礎的知見について、高齢者の暮らしの地域との関わりの視座から以下の通り考察する。

1) 地域活動の認知に関して、地域とのコミュニティの場と成り得る共用空間のある「ゆいま〜多摩平の森」に比べ、分散型である「ゆいま〜高島平」の方が認知されている。空間のみならず、活動に対する潜在意識を高め認識すると共に、地域との連携と協働が必要になると考えられる。

2) 日常生活・生活環境に関して、「ゆいま〜多摩平の森」の方が満足度が高い傾向が見られた。その理由として、自然環境が良いことや買い物に利便性があることがあげられ、周辺環境が生活環境満足度に大きく関わり、重要な要素であると考えられる。

3) 地域での暮らしに関して、「ゆいま〜高島平」においては、生活する上での移動の不便さや住環境についての不満があげられ、「ゆいま〜多摩平の森」においては、買い物の利便性の良さ、周辺環境の良さがあげられた。また、住み続けたいという定住意識は、地域への愛着にも繋がっていると考えられる。高齢者の地域での暮らしにおいては、立地環境のみならず生活そのものも豊かさや暮らしやすさが求められていると考えられる。

4) まちづくり活動への関心に関して、関心はあまり高くない傾向がみられ、周辺環境や居住環境はまちづくり活動に強く関連するような傾向はみられなかった。そのため、意識的な活動よりも、サ高住のまちでの在り方や、地域との関係性そのものがまちづくりに寄与していると高齢居住者に対して関心が生まれると考えられる。

サ高住での暮らしは、地域コミュニティや地域に暮らす居住者との関係性の高德など、地域の周辺環境と密接に繋がっており、高齢者がまちづくりに関心を高めることにより、地域においてサ高住、高齢者の暮らしの持続性につながるものと考えられる。

参考文献

前稿 (その3) と同様である。

注釈

注1) 前稿 (その3) と同様である。